

八王子の自然環境を満喫できる「八王子エコマップ」の作成 ～既存のエコアクションポイントを活用して～

藤田直 片野慧 荒木紫音 青山みのり 坂井晶

指導教員 前田幸男

創価大学 法学部 法律学科

キーワード：エコアクションポイント・観光・環境教育・大学生の参加・定住者の増加

プロジェクト要約 八王子市は都内でも有数の自然環境を持つ地域である。市が実施してきた市民へのアンケートから、八王子市の自然スポット、観光地を記載した「八王子エコマップ」を作り、既存のエコアクションポイントを活用しながら市民の地域への観光訪問、行事への参加を促す。目的は、市民の環境教育、地域交流への参画の拡大と、若者の八王子市への定住率の向上である。

<企画概要>

1. テーマ設定

八王子市は、豊かな自然環境を有し、緑地が市域の約6割を占める都内でも有数の地域である。市内への定住意向は、9割を超え(平成20年調査)、その理由として6割以上の市民が「緑が多く自然に恵まれている」ことを理由に挙げている。また同年に実施した市民・事業者アンケートでも、多くの市民が、公共の場、市街地のみどり、市街地周辺のみどりを守りたい、増やしたいと回答している。

市は、「八王子みどりの基本計画」において、中心市街地における緑化の推進や身近なみどりの保全を図るために、市民や事業者とともに、行動するしくみづくりが必要であると述べている。

つまり、八王子市の自然環境を保全したいと多くの市民が賛同するが、具体的にどのように行動を移せばよいか不透明な部分が存在する。そこで私たちは、八王子市内の自然環境を満喫できるスポットを集約した「八王子エコマップ」を作成する。実際にスポットに足を運ぶことで、地域観光の活性化をはかり、また八王子の自然の豊かさを知ることで、若者の定住率の向上と環境保護への意識向上を促す。

2. 現状分析に照らし合わせた私たちのプラン

市内には、様々な特徴を備えた大小約900箇所以上の公園がある。環境保全の場としてだけでなく、レクリエーション・防災施設にもなり得る公園の機能や高尾山をはじめとした八王子の観光スポットを集め、市民が一目で自然環境と八王子の魅力に触れ合える「エコマップ」を作成する。

八王子市は、21の大学、約9万5千人以上の大学生が学ぶ「学生都市」として他都市に比べ若者の割合が非常に大きい。しかしながら、大学等への入学に伴って八王子市に転入してきた学生が、卒業とともに転出していくという構図の問題点は、これまで度々指摘されている。そして、「定住意向調査」で年齢別の定住意向を見た場合、「20代前半の7割近くが【住み続けたい】と考えているにも関わらず、八王子市から転出していくのはなぜか」という課題を抱えている。この原因を私たちは、八王子市の自然環境や地域のイベントに参加する機会の少なさであると推測する。

平成29年度の「はちおうじ学園都市ビジョン」では、大学等と地域がともに発展するまちづくりを基本理念として、平成35年度までに大学等や学生がまちづくりに関わっていると実感している市民の割合を25.0%への拡大を目指している。「八王子エコマップ」は、表面に、八王子市内の多数の魅力を含んだ、自然公園や観光スポット、道の駅などを写真付きでマップに記載する。裏面には、八王子市が主催する市民・学生を巻き込んだイベントやボランティア、生涯学習の機会などをまとめた、年間計画を記載する。そして、若者に八王子市の自然環境の魅力を伝え、地域行事への参加を促すために、下記に述べる「クールセンター八王子」が行うエコアクションポイントの活用する。

八王子市における地球温暖化防止活動の拠点として、市民や中小事業者と地球温暖化防止の取組や省エネ対策を支援する「クールセンター八王子」が行うエコアクションポイントとは、市民と事業者が省エネなど

の環境に優しい行動の実践と定着を図るため、エコアクションの取り組みを商品に還元することで、CO₂排出量の削減を促進する活動である。この活動は、昨年度から開始されたこともあり、今現在の総数参加者は951世帯である。年齢構成としては高齢者が多く、はちエコポイントの参加方法は7割がイベントからの参加、3割が郵便、FAXなどであった。クールセンター八王子が抱える課題として、Webからのアクセスが非常に少なく、自身のエコポイントを確認する方法がないため、学生を地域のエコ活動に巻き込むことができていないことが挙げられる。

そこで、エコ推進の活動を行うだけにとどまらず、私たちが作成する「八王子エコマップ」に記載する自然環境豊かなスポットを訪れてもらうことにも、ポイントを付与すべきであると考えている。その理由は八王子の今まで知らなかつた魅力を再発見することと、ポイント付与で得られる八王子市の名産品を受け取ることで、地域への愛着が増すからである。

そのために、「八王子エコマップ」に記載するスポットそれぞれにQRコードとスタンプ台を作成し、より円滑にポイントが付与される仕組むを作りたい。

4. 進捗状況

エコマップの作成においては、記載するためのスポットの調査・見学・情報収集を行っている。季節ごとにオススメのスポットを分類し、一年を通して八王子の自然を楽しめるマップを作成中である。

エコマップに記載するスポットと建築アートの融合の実現に向けて、その活動協力において、八王子市を中心に芸術活動を行うクリエイター団体に企画を持ちかけ、現在話し合いを進めている段階である。

最終段階では、アプリケーションでの情報共有を目指している。現時点では、web開発企業に作成を提案している。

5. 今後の課題

今後の課題としては2点挙げられる。

1点目が情報管理の方法である。現在のポイントシステムは、個人に番号のみが割り当てられホームページ上に記載されるため、自分の番号を探すのが困難である。また、今後利用者が増加すれば、より深刻化すると予想される。個人番号の確認は市への問い合わせ

のみとなっており利便性に欠ける。個人番号の掲載・確認方法の見直しが必要である。

2点目がPRの方法である。現段階では、エコアクションの知名度は低く、特にターゲットになる若者への参加率は低い。そのため、若者に認知を拡大するためのPR方法と、興味が持てる内容のアクションを考える必要がある。

6. 行政への提案

このプランの実現に当たって、行政への提案は2点ある。1点目に、参加者が自分のポイントを確認しやすいように、IDとパスワードで管理されているマイページの作成を提案する。そこで、参加者は個人番号とポイントを確認できる。また、次回のイベントの情報を簡単に受け取れるようにして、さらなる参加を促す。

2点目に大学との提携を促し、PRの強化を図る。大学に協力を依頼し、イベントやアクションを学生に周知させる。さらに、アクション自体への関心度を上げるために、ポイント交換商品を学生のニーズに合った商品に変えていくことで、より多くの学生の参加を促すことができる。

若者がこのアクションに興味を持ち、参加することは、環境に配慮した自発的なまちづくりへの活動が期待される。それは、自然豊かな八王子を持続可能なものとし、未来の世代にもつながるまちづくりとなる。

参考文献

- ・第2節 みどりの保全・緑化の推進 — みどりは空気の清浄機 —
(https://www.city.hachioji.tokyo.jp/tantoumadoguchi/017/001/p007035_d/fil/midori.pdf)
- ・はちおうじ学園都市ビジョン
(https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/shimin/002/a951649/p021599_d/fil/gakuentoshi_vision_honen.pdf)
- ・第1章:八王子市全体の現状と課題 1. 人口動態—過去、現在、未来—
(https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisei/001/001/010/p015538_d/fil/10-9jinkoukouzou_chapter1.pdf)
- ・第1章 計画策定のねらい
(https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/life/004/a369456/p006983_d/fil/midori1shou.pdf)